



こんにちは。  
旧暦では3月は「弥生」と呼ばれていました。  
少しずつ春が近づき、草木が生い茂る月  
という意味があるそうです。

地域にもよりますが

**日中は比較的暖かく感じる日が増える**

**3月にぴったりな名前**ですね。

さて、骨がもろくなって  
骨折しやすくなる「**骨粗しょう症**」と

お口の病気である「**歯周病**」。

無関係と思われがちですが、

**実は深い関係があります。**

## 骨粗しょう症患者の8割が自覚なし!

骨粗しょう症になると  
軽く転んだだけでも  
脚の骨や背骨などを骨折してしまい、  
寝たきりになってしまう方も  
少なくはありません。



日本の推定患者数は1000万人以上おり、

約8割は自覚がないとされています。

## 重度の歯周病率は90%以上!

骨粗しょう症を発症する原因は  
加齢、運動不足、生活習慣などさまざまですが、  
そのひとつに「**エストロゲン**」という  
ホルモンの減少があります。

このエストロゲンが減少は  
骨粗しょう症だけでなく  
歯と歯ぐきの間などで  
炎症を引き起こしやすくなり、  
歯周病が悪化してしまうことも。

実は骨粗しょう症を患う人の90%以上が  
「**重度の歯周病にかか**る」と報告されています。

さらに、骨粗しょう症によって  
歯を支える骨も弱くなることから  
より歯が抜けやすい状態になります。

## 骨粗しょう症の薬は歯の治療に影響します

また、骨粗しょう症とお口には  
お薬でも深い関係があります。

骨粗しょう症の患者さんによく使われる、  
「**BP製剤**」というお薬は  
骨が生まれ変わるスピードを  
遅くする働きがあります。

たとえば、抜歯などの処置をきっかけに  
細菌に感染し、あごの骨が  
炎症を起こすことがあります  
この時にBP製剤を飲んでいたら、  
骨が生まれ変わるスピードが  
遅くなっているため、  
傷が治りにくくなります。

最悪の場合、あごの骨が壊死(えし)

してしまうことも。

病気の治療などでお薬を飲んでいる方は  
治療前に必ずご相談いただきますよう  
お願いいたします。



**骨粗しょう症も歯周病も  
自覚症状の少ない病気**です。

もし、骨粗しょう症と診断されたら、  
必ず歯科医院で歯周病のチェックを  
定期的に受けるようにしましょう。

SEE YOU  
NEXT TIME

